

おかやまものづくり大学

『高付加価値加工技術セミナー』（R7 年度第 2 回）のご案内

岡山県では、県内企業のものづくり高度化を支援する取り組みとして、「おかやまものづくり大学」の名のもと、各種講習会を開催しています。今年度の金属材料科では、製品の付加価値向上に直結する技術を取り上げる「高付加価値加工技術セミナー」を実施します。

今回は、現場から寄せられた“より実践的で最新の接合・接着技術を知りたい”という声に応え、金属接合から多素材接着まで、幅広い領域をカバーする内容を構成しました。(株)神戸製鋼所 鈴木励一 氏には「自動車転換期の素材・接合技術」、セメダイン(株) 秋本雅人 氏には「構造用接着剤の最前線」についてご講演いただきます。

気軽に質疑応答や懇談ができ、製品開発や品質管理に役立つ場にしたいと考えております。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

1 日 時 **令和8年3月3日（火） 13：30～15：30**

2 開催方法 「Zoom」による WEB 開催

3 開催次第

13：35～14：25

講演：自動車向け金属素材の動向とその接合技術

講師：株式会社神戸製鋼所

溶接事業部門 技術センター 研究首席（工学博士）

鈴木 励一 氏

世界の自動車市場は、普及期以降最大の動乱期を迎えているといって過言ではない。数年前には確実とみられていた EV 化の進展すらも見通せない。鋼、アルミの基本素材についても高張力化など軽量化に寄与するニーズは不変であるが、課題も多く、その進展度合は遅くなっている。一方、シャシーは動力系やボディに対して地味な印象はあるが、エポックメイキングな動向を受けない安定部材である。いずれも“ものづくり”技術として「接合」はとても重要である。今回、ボディとシャシーに分け、素材とその溶接・接合技術について解説する。

（次ページに続きます）

14:30～15:20

講演：接着剤の市場動向と新たな構造用接着剤

講師：セメダイン株式会社

取締役技術本部長 秋本 雅人 氏

接着剤における近年のトレンドを簡単に見ていくとともに、その中で、特に私たちが現在取り組んでいる2種類の新たな構造用接着剤について紹介する。ひとつは、鋼材と同じような壊れ方をする接着剤であり、もう一つは鋼材はもちろん、アルミニウム合金や繊維強化プラスチックなど幅広い材料を対象とした新たな構造用接着剤である。

15:20～15:30 岡山県工業技術センターからのご連絡

4 定 員 WEB聴講 100 名（先着順）

（申し込み者には、後日、参加方法をメールにてお知らせします。）

5 参 加 費 無 料

6 申込方法 岡山県電子申請サービス（下記 URL）からお申し込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=54354

7 申込締切 **令和8年2月27日（金）17:00**



8 注意事項【講演にかかる著作権について】

本講習会にかかる映像、画像、テキスト、音声又は関連資料等のコンテンツの著作権は講師及び主催者に帰属します。目的のいかんを問わず、録画および撮影、コンテンツの複製（ダウンロード、キャプチャ等）、送信、転載、その他二次利用行為を禁止いたします。

9 お問い合わせ

岡山県工業技術センター 応用技術部 金属材料科 担当：岡野、水戸岡、築山

TEL：086-286-9600 FAX：086-286-9630

E-mail：kousuke_okano@okakogi.jp